

国境なき医師団日本 「緊急チーム」 募金 支援実績（2024 年）

2025 年 7 月

国境なき医師団日本「緊急チーム」募金に 2024 年 12月31日までに入金が確認された寄付は合計 31,178 件、578,297,086 円となり、以下の緊急援助活動に配分されました。

●活動国・地域別 支援額内訳（2024 年）

活動国・地域	「緊急チーム」募金 支援金額	活動内容
チャド	172,040,000 円	スーダン難民 80 万人超をはじめ、100 万人以上の難民を受け入れているチャド。同国東部の難民キャンプ 2 カ所で病院を設立し、難民とキャンプ周辺住民の両方を対象に、妊産婦のケアや救急医療、予防接種などを提供した。
スーダン	115,410,559 円	激しい紛争の続くスーダン。東部のゲダレフ州では保健省と連携し、医療崩壊や経済的困窮に直面する住民や国内避難民に対して、救急医療や栄養治療、予防接種、心のケア、水と衛生などの幅広い医療・保健サービスを提供した。
パレスチナ	113,000,000 円	ガザ地区南部ハンユニスの病院で、外傷とやけどの治療や整形外科、理学療法、心のケアなどを提供。救急や産科、小児科の支援も行うほか、栄養失調の子どもたちのための入院栄養治療センターも開設した。
イエメン	48,560,000 円	長引く紛争で、人びとの栄養失調が深刻化するイエメン。西部の都市アブスやアル・カナウィスでのコレラ流行に対応し、コレラ治療センターを設置。コレラ流行の監視体制を強化しつつ、水と衛生環境の改善や健康教育に取り組んだ。
南スーダン	45,100,000 円	度重なる洪水やコレラ発生中の隣国からの難民・帰還民の流入などにより、コレラが発生。感染拡大を防ぐため、入院・外来治療体制を整備するとともに約 12 万人に予防接種を実施し、清潔な水の提供にも取り組んだ。

ハイチ	36,000,000 円	長年にわたる政情不安の中、武装集団の抗争が続 き、人びとが慢性的な暴力にさらされるハイチ。 医療へのアクセスが特に難しい地域の住民に対 して、緊急医療ニーズへの対応体制を保ちなが ら、移動診療を提供した。
ナイジェリア	35,766,527 円	9 月の洪水災害により、ナイジェリア北部では地 域住民約 130 万人の約 60%が被災。被災地とな ったボルノ州の首都マイドゥグリで医療を提供 し、コレラの治療や予防接種、水と衛生設備の提 供、心のケアなどに取り組んだ。
フィリピン	9,420,000 円	10 月から 11 月にかけて、台風トラミと超大型台 風マン・イにより各地で甚大な被害が発生。被災 地で移動診療や心のケアを提供するとともに、清 潔な飲料水や衛生用品の配布など台風災害後の 緊急援助を行った。
レバノン	3,000,000 円	紛争激化により、2024 年 9 月から 11 月の停戦ま での間、100 万人以上の住民が避難を余儀なくさ れたレバノン。国境なき医師団は診療所 2 軒や移 動診療を通じて基礎医療や心のケアを提供し、国 内避難民には救援物資も配布した。

※緊急援助活動には、「緊急チーム」募金に他の寄付を加えた金額を日本からの支援金とし
て送っています。支援金の総額は、国境なき医師団日本『活動報告書 2024 年度版』の財務
報告をご参照ください。

<https://www.msf.or.jp/publication/annualreport/>